

とり村回覧板

15号
TSUBASA
2014年4月号



おりょう@コミドリコンゴウインコ

とても好奇心旺盛な鳥さんです。仲良しの
ロッコ@オキナインコと共に行動し、お客様の
靴にいたずらしたり、他の鳥さんを脅かしたりと
とてもヤンチャ。ちびっこギャングなんて異名も…（苦笑）

おりょうを応援！～スポンサーさん募集中～

金銭的な支援で鳥達を支えていただく制度です。
おりょうを含む群の鳥達を支援（グループテン）して
くださるスポンサーさんを募集しています。
詳しくは、公式HPをご覧ください。

TSUBASA

「The Society for Unity with Birds - Adoption and Sanctuary in Asia」
（鳥と調和のとれる社会 - アジアの里親とサンクチュアリ）

TSUBASAはインコ・オウム・フィンチと暮らす全ての方、
そして動物愛護に関心をお持ちの方に対して、より良いバードライフの
ご提案と適正な飼育の為の啓発活動を行っております。また、様々な
理由により手放されてしまった鳥達を引き取り（里子制度）、新しい
飼い主さんを探す（里親制度）活動を行っております。

広く、皆様に活動を知っていただく事を
目的とし本紙を発行しております。
回覧板を設置して下さる団体様、
施設様を随時募集しています！

**TSUBASAは「人鳥社会の幸せのために」を
理念にレスキュー活動をする団体です**

劣悪な飼い主から 緊急レスキュー！

2014年2月初旬に、とある飼い主様から、オカメインコやセキセイインコなど、合わせて8羽の若い鳥たちを緊急レスキューしましたのでご報告致します。

経緯

【1月31日】

50代前後の男性の飼い主様から引き取り相談の電話。
手放す理由：飼い主様が病気で入院される

引き取り対象の鳥

- ・オカメインコ2羽
 - ・セキセイインコ1羽
 - ・文鳥5羽
 - ・ダルメインコ1羽
 - ・マメルリハ1羽
- 計10羽

引き取りの流れや負担金について説明するが、非協力的な言動。引き取りの希望日までにはまだ時間があつたことと、とり村のお近くにお住まいだということもあり、明日お越しいただくことを願います。

【2月1日】

とり村にお越し頂く。
引き取りに関する書類の記載をお願いするが非協力的。
ヒアリングをしながら書類を記載。

ヒアリングで得た事実

- ・全員生後3ヶ月程の若鳥
- ・オカメインコ：挿餌中
- ・文鳥1羽とダルメインコが今朝亡くなる

2羽が亡くなった理由については回答なし
引き取りの費用に関しては、

- ・入院するのでお金がない
 - ・生活保護を受けているからお金がない
 - ・家族には頼れない等
- 頑なに費用を負担する気は無いという態度

さらに、

「引き取ってもらえないなら鳥達を逃がす！」と発言。
動物愛護法に違反することになり、罪に問われる事になると伝えると、発言を取り消す。
緊急対応が必要ありと判断し、翌日再度話し合いを設ける

【2月2日】

TSUBASA代表（松本）同席
再度ヒアリングを行う。新事実とは下記の通り。

- ・鳥たちは衝動買い
- ・入院は確定ではなく、通院
- ・鳥達が亡くなった理由は保温をしていなかったと推測

鳥たちの衝動買いや病気の嘘は百歩譲っても、若い鳥が2羽寒さで亡くなったことに関しては譲歩することはできません。

現在の鳥たちの飼育環境を尋ねると、全く保温をしていなかったことがわかりました。この時期（2月初旬）は冬でも一番寒い季節です。しかも生後3ヶ月のヒナにとっては生死に関わります。現に2日前に2羽が寒さで亡くなったと思われまます。

私たちは飼い主様に保温をすることを願いました。しかし…

飼い主：「お金がない」「電気代が払えない」

私達：「せめて毛布などでケージを覆ってほしい」

飼い主：「毛布は自分のものなので」と、拒否。

レスキュー直後の様子

レスキューへと切り替えた後、前飼い主のご自宅に鳥達を引き取りに伺いました。ある程度の予想はしていましたが、事前に聞いた情報より飼育環境は酷い状態でした。状況は下記の通りです。

- ・自宅には爬虫類や熱帯魚、昆虫などの鳥以外の動物も多くいた（他の動物については、貰い手が見つかったとのことでした）
- ・室内は肌寒く、鳥たちは膨らんでいた
- ・窓は締め切って薄暗く、陽当たりが悪い
- ・掃除は一度もしていないのではないと思われるほどトレイに便がびっしりと積もっており、悪臭が漂う
- ・食餌は与えられているものの、水は与えられていなかった理由を尋ねると、「水浴びをして部屋を汚すから」と

この状況から、即座に動物虐待で前飼い主を警察へ突き出したい気持ちがありましたが、前飼い主には今後、二度と動物を飼育しないという念書に署名して頂きました。



レスキューしたオカメのルル。生後3ヶ月以上にも関わらず、まだ挿し餌を続けている状態でしたので、一人餌の切り替えが大変でした。

【TSUBASAの判断】

「引き取り相談」から「レスキュー」に切り替えました。一刻も早く残った鳥たちをレスキューしなければ、間違いなく犠牲者（鳥）が増える予想できました。一旦、飼い主様を帰して、2時間後に飼い主様の自宅に行き、鳥8羽をレスキューすることを決定しました。

【レスキューからその後】

今回レスキューした鳥たちは以下の通りです。

- ・オカメインコ2羽（挿し餌）
 - ・文鳥4羽
 - ・マメルリハ1羽
 - ・セキセイインコ1羽
- 計8羽。

しかし、レスキューに切り替えて良かったと思った矢先、残念ながら検疫期間中に文鳥が1羽、体調が急変して亡くなりました。

せっかく助け出した命、これから幸せに暮らして欲しいと願っていた分、残念でなりません。そして尊い命を救うことができなかったことに、心から申し訳ない気持ちでいっぱいです。そして、今回のレスキューで募金と呼ばれたところ、多くの方からご支援を頂きました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

現在は鳥たちの検疫期間が終了しました。しかし2階寝室スペースが手狭になったため、鳥達を検疫室から移せてはけません。場所を確保し、準備ができましたら、この子達の里親も募集させて頂きたいと思っております。

病院選びについて

ボランティアさん達との休憩時の会話の中で、「病院はどう選んだらよいか？」という話がよく話題にのびります。

例えば…

- ・今は鳥をお迎えしていないが、もしお迎えした場合、今住んでいる地域には鳥を診れる病院が無いので、引っ越しを考えている
- ・鳥を診てくれるけど、先生との相性が良くないと感じている …等です。

スタッフ個人としても、とても興味のある事柄ですし、鳥を飼っている人であれば誰もが思う事でしょう。

そこで今回は、皆さんが病院を選ぶ際に少しでもお役に立てる事があればと思い、愛鳥家ボランティアさん10名にご協力頂き、現在通院している病院に決めた理由や選ぶ時に参考になっている事などを伺ってみました。

その結果、下記の5つの意見が多く挙がりました。

病院を選んだ理由

1. 距離 (30分以内)
2. 通院している人の話を聞く
3. 先生との相性
4. ネットや口コミでの評判
5. 鳥の専門医かどうか



右の理由以外にも貴重なご意見を頂きましたが、ネットで家の近くの病院をリサーチし、実際に通院している人の話を聞き、先生との相性等で決めるという方が多いと感じました。

ただ、犬や猫と比べると鳥を診れる先生は多くないのが現状です。地域によっては限られてしまう事もあるかと思えます。緊急の時のことを考えて、自宅から病院まで電車や車で30分以内であること、夜間や土日祝日でも診てくれることなど、あらかじめ調べておき、普段の健康診断とは別に行ける病院を使い分けることも時には必要のようです。

皆さんが口々に仰っておられたのは、「1つの病院で満足しない事」。愛鳥さんが元気な時に、普段の健康診断や爪を切ってもらうついでに、病院の設備や先生の考え方、技術のチェック等も兼ねて、セカンドオピニオンという考え方もあり、複数の病院に通われている方も多くいらっしゃいます。

TSUBASA でも現在は常勤獣医師がおりませんので、状況に合わせて複数の先生に診て頂いています。皆様が相性の良い先生と出会い、愛鳥さんと末長く過ごせることを祈っております。

にぎやかバードの主張！

鳥さんの特徴「大きな鳴き声」。
主張の大きな鳥さんを集めました。

皆様の愛鳥さんの声は、購入する前の印象より大きかったですか？小さかったですか？

「思ったより声大きい!？」なんて思ったご経験がある方も多いかも。鳴き声は種類だけでなく、性別や個体差にも由来します。このコーナーでは、大きな声が出る鳥さん達と暮らす方々を集めました。

防音をしている方、していない方色々な視点から、鳥さんの「にぎやかな主張」をご紹介します。

～K様のお家のタイハクオウムさん・メキシコインコさんの場合～



Q. 飼う前と飼った後の鳴き声の印象に差はありますか？

A. コガネメキシコインコ (以下、メキシコ) は想像していたより声が大きく響きます。タイハクオウム (以下、タイハク) は普通の呼び鳴き程度だとメキシコよりも小さいかなと感じます。他にもヨウム、オカメインコ、セキセイインコなどがありますが、常にうるさくて声大きいのはメキシコです。

Q. どんな時の声が一番大きいですか？

A. メキシコは呼び鳴き、タイハクは部屋を暗くして寝かしつける時が一番大きい声を出します。メキシコは3mくらい、タイハクは室内のドアが開いていればどこでもうるさいくらい響きます。

Q. お家の間取りを教えてください。

A. 木造一軒家の1階(和室)に鳥部屋があります。

Q. 何か対策をしていますか？

A. 防音対策は特にしていません。タイハクは寝かしつける時が一番うるさいので、カーテンを閉める順番や暗くするタイミングなどを考えて、なるべく雄叫びさせないようにしています。

Q. 家の外でも響いている場合はどの位の距離で、聞こえますか。

A. メキシコの場合は10mくらい離れた所でも聞こえますが、うるさいという程ではなく野鳥と同じくらいの音量です。タイハクは呼び鳴き程度だと5mくらい離れた所で野鳥と同じくらいの音量ですが、雄叫びだと20mくらい離れた所でも聞こえるくらいの音量です。

Q. 鳴いた時の飼い主様の対応は？

A. コガネメキシコの場合は無視しています。タイハクオウムの場合は姿が見えると呼び鳴きする事が多いので、鳥部屋とリビングの間にある扉を閉めて人間が見えなくなるようにしています。それでも鳴き止まない時は部屋の電気を暗くします。静かになってしばらくしたらケージのそばにいてフォローしてあげています。

イベントのお知らせ

詳しくは、「公式ブログTSUBASAみらくる日記」
をご確認いただくか、ご連絡ください。

6月15日 『2014年TSUBASAシンポジウムin 東京』

1年に1度の大きな
イベントです♪

会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター 時間: 11:00~16:15

講演: D・I・N・G・O 新居様 石綿様

「愛情と科学」~3つの重要な鍵: 待つ、見る、伝える~

小鳥の病院バードハウス 眞田先生ご夫妻

「鳥にもメタボ?! あなたの鳥は大丈夫?」 他、TSUBASA スタッフ2名



2014年TSUBASA 会員募集中!

TSUBASAの活動理念に賛同し、応援して下さる会員様を募集しています。
人・鳥・社会の幸せの為に、活動を続けてまいりますのでどうぞ、よろしくお願いします。

◆2014年会員募集期間(途中参加もOKです)

2014年1月1日~12月31日

◆会費 ※新規入会時は、入会金1400円が別途かかります。

会員種別	価格	備考
正会員	3,600円	総会の議決権があります
賛助会員	1,200円	総会の議決権がありません

◆会員特典

*毎月1回以上、会員限定メルマガの発行

*2014年新規会員様より、

TSUBASA オリジナルピンバッジプレゼント

*各種イベントの先行予約、割引

◆お申し込み方法

ご入会はTSUBASAのホームページからお申込み
いただくかお電話メールにてお問い合わせください。

里親会 のご案内

TSUBASAはここ数年、大型のレスキューが後を絶ちません。
月に2度定期的に里親会を開催しておりますので、その予定をご案内いたします。

~里親会開催予定日~

5月 3日(土) 11日(日)

6月 8日(日) 22日(日)

7月 13日(日) 20日(日)

8月 17日(日) 24日(日)

変更がある場合は、ブログ
にてお知らせします!



何時から始まるの?

→13:00~15:00までですが、初めていらっしゃる
場合は13:15からの説明会にご参加ください。

どんな鳥さんがいるの?

→家族の元へ行く方が望ましいと思われる鳥から、
里親会に参加しています。

詳しくは、<http://tsubasamb.jimdo.com/>をご覧ください。



●営業時間

1階 10:00~17:00 (土日祝) / 13:00~17:00 (平日) 2階 13:00~16:00 定休 木曜

●所在地 埼玉県新座市中野2-2-2

東武東上線「柳瀬川駅」から 徒歩約25分

TEL: 048-480-6077 FAX: 048-480-6078 E-mail tsubasa0615@gmail.com

●送迎

平日と休日の該当時間外は、事前に送迎のご予約をお願い致します。

【発行元】

NPO 法人 TSUBASA

松本 壯志/涌井 智美

望月 健人/武井 小奈宜

【発行】2014年4月
次回の発行は7月を予定
しております。

